

1 開催日時 令和6年2月7日(水)午後4時00分～午後5時00分

2 開催場所 市庁舎3階 大会議室

3 出席者

【会長】習志野市スポーツ推進委員連絡協議会 副会長 阿川 幸平

【副会長】習志野市スポーツ協会 副理事長 山口 一

【委員】習志野市医師会 医師 大沢 亜紀

千葉工業大学 教授 引原 有輝

東邦大学 准教授 澁川 賢一

習志野市スポーツ協会 理事 吉見 知子

順天堂大学 准教授 河村 剛光

袖ヶ浦東小学校校長(小中学校体育連盟副会長) 瀬山 英樹

習志野市政策経営部 部長 竹田 佳司

事務局

生涯学習部 部長 片岡 利江

生涯学習部 次長 芹澤 佐知子

生涯スポーツ課 課長 三橋 智

生涯学習部 主幹 高田 賢

生涯スポーツ課 副主査 中村 吉宏

生涯スポーツ課 主任主事 長束 友希央

生涯スポーツ課 主任主事 森田 結芽

生涯スポーツ課 主事 小林 飛大

報告

(1) スポーツ施設の次期指定管理者の指定について

協議

(1) 令和6年度生涯スポーツ課の事業概要(案)について

(2) 令和6年度スポーツ・運動に関する市民アンケートについて

会議資料

(1) 令和6年度生涯スポーツ課事業概要について(案)

(2) 令和6年度文化・スポーツに関する市民アンケート

(3) 指定管理者の指定について(習志野市スポーツ9施設)

<議事内容>

第1. 会議録作成等

会議録については、要点筆記とし、会議名、会議日程、会議場所、出席者氏名、審議事項、会議内容、発言委員名及び所管課名を記載し、非公開の審議事項を除く記録について、市のホームページ及び市のグランドフロアにおいて公開する。

第2. 会議録署名委員の指名

吉見委員、山口委員とする。

第3. 報告(1)スポーツ施設の次期指定管理者の指定について

【三橋課長】

昨年、12月に行われた第4回定例市議会において、「指定の議決」がされ、正式に指定管理者となったため、報告する。

指定管理者は、公益財団法人 習志野市スポーツ振興協会。

指定管理期間は、令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間。

指定管理料は、募集要項の上限額と同額、年間1億6千9百84万7千円。このうち、電気料金、修繕費、減免相当額の4千6百17万8千円は、年度末の精算払いとする。

市議会にて、応募のあった3者それぞれの得点、提案の特徴について質問があり、各社の評価項目に対する得点等を含め、既に11月6日付で市のHPに公開していることを回答した。

今後は、基本協定書の締結及び年度協定書の締結をする。

なお、令和6年4月1日付にて、同財団は公益財団法人習志野文化ホールを吸収合併することが、両財団の理事会、評議員会にて承認された。

千葉県から合併について承認を得た後、財団の名称を公益財団法人 習志野市文化スポーツ振興財団とする予定である旨、併せて報告する、と説明。

【山口委員】

指定管理者候補者の報告と他の2社の点数について資料を頂きたい、と発言。

【高田主幹】

会議終了後、配付する、と回答。

阿川会長が他に質疑なしと認め、報告(1)は終了した。

協議事項(1)令和6年度生涯スポーツ課の事業概要(案)について

【高田主幹】

市議会での予算審議が済んでいないため、令和6年度生涯スポーツ課の事業概要(案)として説明する。

令和6年度の生涯スポーツ課主要事業として、スポーツ推進計画の「する・みる・支える」スポーツの推進を柱に取り組みを実施し、市民一人ひとりがスポーツに親しめる環境を提供する。これより主なものを抜粋し、説明する。

「するスポーツ」の推進について。

取組1、スポーツ奨励大会を開催する。

市民が誰でも気軽に参加できるスポーツ活動を推進するため、習志野市スポーツ推進委員連絡協議会に委託し、5事業のスポーツ奨励大会を実施する。実施内容は、

6月に、オール習志野歩け歩け大会、

7月に、東部体育館でニュースポーツフェスティバル

10月に、茜浜PG場にてパークゴルフのつどい、

12月に、コミュニティバレーボール大会、

2月に、新たにモルックを実施する予定である。

モルックは現在、市民スポーツ指導員の地区活動や放課後こども教室でも行われているため、奨励大会に取り入れ、市内のスポーツを盛り上げようという試みから新たに追加した。

取組2、市民スポーツ指導員による地区活動として、地域スポーツ活動の更なる推進を図るため、市内16小学校区で年間2事業以上のスポーツ活動の実施を、市民スポーツ指導員連絡協議会へ委託する。

また、市民スポーツ講演会を開催し、市民スポーツ指導員の資質向上を図る。

取組3、4、習志野市スポーツ協会及び公益財団法人習志野市スポーツ振興協会への活動に対し、補助金の支出という形で引き続き支援を行う。

取組5、総合型地域スポーツクラブの活性化について。

市内に3つある総合型地域スポーツクラブに対し、活動内容を市の広報誌やHPで紹介してきたが、昨年度から各団体のスポーツまつりの様子をXで紹介するなど、その認知度の向上に向けたPRを行い、団体の活性化(加入者の増)を図る。

取組6、7学校体育施設開放事業について。

休校日の学校体育施設を有効に活用するため、市内16小学校のグラウンド・体育館を土・日曜日、祝日の日中及び土曜夜間の体育館を一般開放し、市民のスポーツ活動の場を提供する。また、同じく学校の体育施設である学校プールを、夏季の長期休業期間に借用し、一般市民へ水に親しむ機会を来年度も継続して提供する。

「みるスポーツ」の推進について。

トップチーム等による大会の開催が主な取り組みであり、トップチーム・トップアスリー

令和5年度 第3回習志野市スポーツ推進審議会 会議録

トの試合を市内に誘致することにより、市民が身近に観戦できる機会を提供する。

第一カッターフィールドにて、アメリカンフットボールXリーグ、千葉県社会人サッカーリーグ、・関東大学サッカー部リーグを開催する予定となっている。

令和6年度は、本市を活動拠点にしているオービックシーガルの試合を秋に3試合、開催する予定がある。

また、第一カッター球場にて高校野球千葉県大会予定であり、県民体育大会の会場として、市立習志野高等学校にて「ボクシング」、千葉県国際総合水泳場にて「水泳」、東部体育館にて「なぎなた」が予定されている。

「するスポーツ」にも関連するが、来年度は習志野市市制施行70周年記念事業として、宝くじの収益を活用した「ドリームベースボール」を12月8日（日）に第一カッター球場で実施する。

これはプロ野球OBを招き、小学生への野球教室、サインバット等の観客への抽選会、ホームラン競争、本市選抜チームとの親善試合（ドリームマッチ）を実施するものである。

その他、習志野市スポーツ協会でも70周年記念スポーツ教室が計画されているため、協力する。

最後に「支えるスポーツ」の推進について。

取組1、各種スポーツ団体への支援。

スポーツ推進委員、市民スポーツ指導員、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等の市内のスポーツ推進団体の活動等を支援し、市民の支えるスポーツを推進する。

取組2、指定管理者と共に、市民のスポーツ活動を支える。

取組3、スポーツ施設の整備では、

市内に14面ある人工芝テニスコートの計画的な張替え、

袖ヶ浦体育館敷地内汚水柵及び配管の改修工事の実施、

順次施設のLED化に向けた改修、

袖ヶ浦体育館空調設備設置に向けた設計委託、

秋津野球場及びサッカー場の再整備として、サッカー場の人工芝化の先行実施に向けた検討を行う。

その他、令和5年度当初計画になかったが、民間企業や各団体からの提案を受け、親子野球教室や未経験者向けのサッカー教室、プロバスケットボールの公式戦市民無料招待や民間企業と連携したウォーキングイベントを実施した。

今後も、本市のスポーツ・運動の推進につながる提案については、検討し実施する、と説明。

【引原委員】

支えるスポーツとして、各種スポーツ団体への支援とあるが、具体的な支援内容、対象団体の選定方法について伺いたい、と質疑。

【中村副主査】

具体的な支援として、予算の確保を行っている。団体の選定方法については、改めて回答すると、回答。

【阿川会長】

習志野市には、スポーツ協会を中心に、体操クラブや少年野球など、色々な組織があり、スポーツ協会を通して活動支援を受けている。

市の要請に基づき、中学校区を対象に、地域住民の手で立ち上げた総合型地域スポーツクラブは、テニスボールなどの消耗品を、市の負担あるいは県から補助金の交付、施設の優先利用といった支援を受けている。

他にも、社会教育課の市民カレッジ事業にて、総合型スポーツの分野実技と座学を提供し、健康増進を推進している、と発言。

【山口副会長】

スポーツ協会は、市民総合体育大会等、場所の確保や体育館使用料について支援を受けている、と発言。

【芹澤次長】

スポーツ推進委員について補足する。

スポーツ推進委員は、誰もが気軽にスポーツに参加できる機会を作るため、市がスポーツ推進委員を委嘱し、そのスポーツ委員の構成員となっている連絡協議会が、様々なスポーツの普及をすための活動を全市的に行っている。

市民スポーツ指導員は、各地区でスポーツを広めていくための活動をしている。

このような市民ボランティアと生涯スポーツ課が連携し、年間計画に沿って、計画的なスポーツ振興をしている、と発言。

【引原委員】

資金面、物資面、施設面で支援があり、非常に有効的だと考えるが、市内の自主団体へ情報は届いているのか、また、公に資金面、物資面等の支援が受けられることを各団体に告知した上で行っているのか伺いたい、と質疑。

【芹澤次長】

連絡協議会を開催し、その中で、情報交換を行っているため情報は届いている認識、と回答。

【引原委員】

連絡協議会に所属する団体、また連盟に加入している団体には情報を提供する場があるという認識でよいか、と質疑。

【芹澤次長】

よい、と回答。

【阿川会長】

組織に加入されていない団体へのアナウンス方法について補足する。

利用者は、予約システムから予約をする。

活動する場所がない場合は、資料(1)の学校体育施設の開放事業より、生涯スポーツ課を經由し、使用について届出を提出すれば、使うことが可能である、と発言。

【山口副会長】

施設予約について、一斉に抽選を行うため、利用者へ連絡はできている、と発言。

【引原委員】

他市の学校開放事業にて、長年歴史ある地域の団体ほど優先権が大きく、全ての予約枠を確保し、使用しないというケースがある。規模の小さな団体が、利用枠の空きを形式的に持ち、利用できていないという実態があるならば、その点を解決する必要がある、と発言。

【中村副主査】

習志野市の学校開放事業は、地域の子供たちの土日、祝日の活動場所を確保することを目的としている。しかしながら、少子化も関係し、大人の利用団体が多い地区もあると聞いた。情報を適切に公開する大切さと、市民利用のバランスを考え、既存の団体に説明をしながら進めていく必要がある、と発言。

【吉見委員】

東部体育館と東習志野小学校の体育館を団体利用しているが、小学校の体育館については、学校行事の利用が多くあるため、定期的利用は難しい、と発言。

【阿川会長】

優先順位として、学校行事が最優先であり、それについて利用団体に了承を得ている。

新規利用団体が利用する場合は、これについて説明をすれば問題ないとする、と発言。

【阿川会長】

宝くじスポーツフェアについて、令和6年度は、ベースボール、ママさんバレー、サッカーの3種類が補助対象事業となっているが、定期的な申し込みはできるのか、と質疑。

【小林主事】

毎年1種目のみ申し込み可能。年間県内で1種目1ヶ所のみが対象となり、開催地は抽選で決まる。なお、令和6年度は当選したため、12月にドリームベースボール開催する、と回答。

【澁川委員】

支えるスポーツ推進に、スポーツ推進員や市民スポーツ指導員の養成事業について記載がない。永続的な委員を確保するため実施している養成講座等は事業として捉えていないのか、と質疑。

【三橋課長】

市民スポーツ指導員は、3年ごとに養成講座を実施しており、次回養成講座は令和7年度実施の

ため、令和6年度の事業(案)に記載をしていない、と回答

阿川会長が他に質疑なしと認め、協議(1)は終了した。

協議事項(2)令和6年度スポーツ・運動に関する市民アンケートについて

【中村副主査】

資料(2)として、社会教育課が実施する文化のアンケートと生涯スポーツ課が実施するスポーツ・運動のアンケートを併せ配布した。

前回(平成30年度)実施したアンケート回収率は約30%、内訳は10代~30代の回収率が低く50代以上の高齢層の回収率が高いため、社会教育課と年齢による回答率の偏りについて対応を検討する。

11ページ目、質問33からスポーツ・運動についての問いになり、質問数は前回より変更していない。

実施時期について、5月へ前倒しが可能であれば、次回7月の審議会でアンケートの結果報告を行う。当初予定通り6月に実施した場合は、集計がまとまり次第、委員へ結果報告を行う、と説明。

【引原委員】

対象者は無作為抽出だが、興味、関心のある方が回答するため、市民意見の反映をするため、無関心層の回答を得ることが重要な課題であり、スポーツの実施率を上げるためにも、ネックになると考える。

アンケートにて、どれぐらい実施しているか、という質問から、すでに比較的スポーツをしている人たちのデータが集まるのか、また、スポーツをしていない人の意見の集め方が重要だと感じた。全体的な回収率を上げるため、回答することが市民へ利益循環を生むこと、自分たちにメリットがあることをアピールする必要がある。

回収率を上げるための、他の行政が、いろんな工夫をしているので参考にするとよい、と発言。

【山口委員】

文化の部分だが、アンケートの言い回しを検討いただきたい。

また、11ページ質問33-2に記載の質問2-1はどこを指しているか、併せて、12ページ質問34に記載のニュースポーツについて、簡単な説明等記載するのはどうか、と発言。

【中村副主査】

質問33-1の記載誤りであるため修正する。

ニュースポーツについては説明を追記する、と回答。

その他

【三橋課長】

次回は令和6年7月3日の予定、と連絡。

阿川会長が他に連絡はないことを確認し、その他は終了した。

【閉会】

阿川会長が令和5年度第3回習志野市スポーツ推進審議会の閉会を宣言。